

第3回教師みらいセミナーが開催されました！

令和8年度 第3回教師みらいセミナー

10月3日（土） 9：30～12：00 @錦本町ひなたキャンパス

◎内容

「学校における自治的活動について考える」

- ・宮崎大学教育学部 准教授 盛満弥生
- ・三股町立勝岡小学校 教諭 三田陸人

◎参加者数

会場参加 51名 オンライン参加 46名 計97名



今回のセミナーは「学校における自治的活動について考える」をテーマに行われました。

前半では、盛満先生から、特別活動をテーマに講話がありました。特別活動には、学級活動・ホームルーム活動、児童会・生徒会活動、学校行事、クラブ活動があり、それぞれが学校生活の中で果たす役割について説明がありました。特に児童会・生徒会は、学校の全ての児童生徒によって組織されるものであり、委員会活動なども児童会・生徒会活動の一部であることが紹介されました。

また、「自分の頑張りで、学級や学校をよくすることができる」という意識に関する調査結果を取り上げ、児童生徒が学校をつくる一員であることを実感できる指導の必要性について話がありました。委員会活動などを経験していても、それを児童会・生徒会活動として十分に意識していない場合があることにも触れ、活動の意味を実感できるようにすることの大切さが示されました。さらに、「自分たちが自分たちの集団をよくするために何ができるか」という問いを通して、学校生活に主体的に関わることの大切さについて学びました。

後半では、教育学部教職実践基礎コース第1期生で教職大学院修了生でもある三田先生から、教師を目指したきっかけや大学時代の学び、現在の教師生活について、経験を振り返りながらお話しいただきました。恩師との再会をきっかけに教師を目指し、大学、大学院で学んだ後、教師として子どもたちと協力して何かをつくり上げる楽しさを感じるようになったことなどが紹介されました。

教師として経験を重ねる中で、前年と同じ方法がそのまま通用するわけではなく、目の前の子どもたちに合わせて工夫してきたことや、「先生がつくる学級」から「子どもがつくる学級」へと考え方が変化していったことが紹介されました。教師がすべてを決めるのではなく、子どもたちに問いかけ、考え、話し合い、決めていく過程を支えること、そして教師自身も周囲の先生方から学び、試行錯誤を重ねながら成長していくことの大切さについて話がありました。

今回のセミナーを通して、参加した高校生は、子どもたちが主体となって学級や学校をよりよくすることや、それを支える教師の役割について考えるとともに、教師自身も学びながら成長していくことについて理解を深める機会となりました。

受講者の感想より

- 生徒会は生徒全員で成り立っているものであると知り、説明を聞いて納得しました。また、実際の先生の声を知ることができて、教師の魅力をより深く知ることができました。そして、様々な工夫がされていることに気づきました。今回の講座で様々なことを学び、考えることができました。これから理想の教師になれるよう、努力していきたいと思います。ありがとうございました。
- 教師とはただ勉強を教えるだけではなく、生徒たちが学び、当事者意識を持って、自分たちで物事を達成したり、準備する力を育てる存在であることがわかりました。
- 今日のセミナーを受けて、子供たち自身が自分で考えていくことが大事だな、と感じた。そういう環境を作れる、きっかけを与えられるような先生になりたいと感じた。

★教師みらいセミナーのページはこちら↓

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/edu/community/post-1.html>